

平成30年度事業報告
(自 平成30年4月1日 ~ 至 平成31年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

I. 美術館運営事業

1. 展覧会の開催

MOA美術館を303日、箱根美術館を年間309日開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に特別展、企画展、平常展を開催した。

(1) MOA美術館 (総入館者数 269,537名)

① 北斎と広重 富嶽三十六景と東海道五十三次

平成30年3月16日(金)～4月24日(火) (期間入館者数 36,044名)

出陳件数101件

浮世絵風景版画の分野を確立した北斎「富嶽三十六景」全46枚と広重「東海道五十三次」(保永堂版)全55枚を同時公開した。

② 岩佐又兵衛 浄瑠璃物語絵巻

平成30年4月27日(金)～6月5日(火) (期間入館者数 27,938名)

出陳件数8件

金箔、金銀泥、緑青、群青など高価な顔料がふんだんに用いられた、又兵衛絵巻群中最も絢爛豪華な作品である重文「浄瑠璃物語絵巻」全12巻を一堂に公開した。

③ 琳派—光悦と光琳

平成30年6月8日(金)～7月17日(火) (期間入館者数 27,130名)

出陳件数47件

当館琳派コレクションから、光悦と光琳の作品を中心に琳派作品を展観し、今なお私達の生活の中に生き続ける装飾芸術の粋、琳派の魅力を紹介した。

④ 吉田博木版画展

平成30年7月20日(金)～8月28日(火) (期間入館者数 29,272名)

出陳件数77件

「日本アルプス十二題」や「富士拾景」、刻一刻と変化する海の表情を表した「瀬戸内海集」など、こよなく自然を愛した風景版画家・吉田博(1876-1950)の作品約80点を紹介した。

- ⑤ 歌麿とその時代 浮世絵黄金期の輝き
平成30年8月31日（金）～10月2日（火）（期間入館者数 20,861名）
出陳件数55件
歌麿をはじめ、天明・寛政期から文化・文政期に活躍した絵師たちの肉筆美人画や錦絵を展観し、江戸町人文化の賑わいととも花開いた黄金期の浮世絵の魅力を紹介した。
- ⑥ 特別展 信長とクアトロ・ラガッツィ 桃山の夢と幻
杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ
平成30年10月5日（金）～11月4日（日）（期間入館者数 23,731名）
出陳件数96件
現代美術作家・杉本博司が天正少年使節のヨーロッパにおける足跡を辿って撮影した写真作品と同時代を生きた織田信長に焦点を当て、16世紀の東西交流のもとに生まれた桃山美術を展観した。
- ⑦ 特別展 人間国宝展
平成30年11月7日（水）～12月9日（日）（期間入館者数 24,727名）
出陳件数 55件
現在認定されている全56名の人間国宝の卓越した工芸の技と美を展観することによって、素材の特性を最大限に活かしながら、自らの技を通して、個性を發揮していくという日本の伝統工芸の芸術観を紹介した。
- ⑧ 竹内栖鳳展 コレクションを中心に
平成30年12月15日（土）～平成31年1月22日（火）（期間入館者数 29,853名）
出陳件数 49件
明治33年（1900）37歳でヨーロッパに渡り西洋美術への理解を深め、その後、西洋画法を取り入れた写実表現によって、日本画の新しい道を切り開いた竹内栖鳳（1864－1942）にスポットをあて、コレクションを中心に展観した。
- ⑨ リニューアル3周年記念名品展 第一部 国宝「紅白梅図屏風」
平成31年1月25日（金）～3月12日（火）（期間入館者数 50,034名）
出陳件数 74件
「紅白梅図屏風」、野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」、手鑑「翰墨城」の3件の国宝の同時公開に加え、コレクションの各ジャンルを代表する名品を展示室1～5室にて展観した。

特集陳列 人間国宝 室瀬和美の世界

重要無形文化財「蒔絵」保持者 室瀬和美の作品を、リニューアル3周年記念名品展 第一部 国宝「紅白梅図屏風」期間中、展示室第6室にて展示公開した。

⑩特別展 URUSHI 伝統と革新

平成31年3月15日（金）～4月16日（火）（期間入館者数 27,358名）

出陳件数 140件

日本伝統漆芸展の35回を記念して、江戸時代末期から現在日本工芸会で活躍する作家の漆芸作品を展観した。

(2) 箱根美術館（総入館者数 142,269名）

① 常設展示

○ 平成30年4月1日～平成31年3月31日

重要文化財1件を含む縄文から江戸時代に至る日本古陶磁を中心とした常設展示を開催した。

○ 別館において、第1展示室にてMOA岡田茂吉賞受賞作家の作品10件を展示した。そして、年間を通して創立者岡田茂吉が提唱した事業を、解説及び写真パネル等により紹介した。

② 小企画展

○ 平成30年4月1日～平成30年6月12日

人間国宝の工芸作品を中心にした「近代工芸」展の開催

○ 平成30年6月15日～平成30年9月19日

「桃山の茶陶」展の開催

○ 平成30年9月21日～平成30年12月5日

「近代日本の木版画」展の開催

○ 平成30年12月7日～平成31年3月29日

古伊万里、古九谷等を中心にした「色絵陶磁器」展の開催

2. 賛助会員（友の会）の募集

(1) 会員数 8,639名

3. その他

(1) 季刊誌の発行

① 財団活動を広く知らせるための「MOA美術館 美の友」誌を、4月・7月・10月・1月の4回発行し、MOA美術館来館者と友の会会員に配布した。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

① 美術品の貸出しを、別紙資料1の通り行った。

Ⅱ. 表彰・コンクール事業

1. MOA美術館児童作品展

美を通して心の教育、「美育」を進めていくべく、家庭、地域、学校と連携し、日々取り組んでいる創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間」形成を目的として第30回MOA美術館児童作品展を実施した。

(1) 選考方法

- ①地方展：実行委員会による地方展が国内387会場、海外31会場で開催され、応募作品456,646点から各会場が行う審査会において最優秀作品を決定した。
- ②全国展：地方展で選ばれた各会場最優秀作品をMOA美術館に集め、文部科学省教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、教育委員会指導主事等で構成される全国展審査委員会において、全国展入賞入選作品300点を選考し、内閣総理大臣賞などの各賞を決定した。

(2) 賞の種類と点数

① (個人の部)

賞名	絵画	書写
a) 内閣総理大臣賞	1点	1点
b) 文部科学大臣賞	6点	6点
c) 外務大臣賞	3点	
d) 厚生労働大臣賞	1点	1点
e) 農林水産大臣賞	1点	1点
f) 環境大臣賞	1点	1点
g) 日本PTA全国協議会会長賞	1点	1点
h) 全国子ども会連合会会長賞	1点	1点
i) ボーイスカウト日本連盟理事長賞	1点	1点
j) 審査員賞	1点	1点
金賞から入選	269点 (絵画)	203点 (書写)
		66点

② (団体の部)

a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校 (8,699校中)

学校・地域・家庭ぐるみの豊かな情操教育の充実に寄与し、優秀な作品を多く輩出している小学校に対して、文部科学省から文部科学大臣賞学校奨励賞を以下の6校に下付。

北海道 函館市立 深堀小学校
青森県 中泊町立 中里小学校
岐阜県 大垣市立 中川小学校
奈良県 大和郡山市立 郡山北小学校
広島県 呉市立 川尻小学校

b) 厚生労働大臣賞 2 児童作品展実行委員会

児童作品展を中心に、地域の医療機関での作品展示、ボランティア協力、地域のコミュニティー施設等での日本文化の実践等を通じて、子どもたちの健全なる育成に寄与する活動をしている実行委員会に対して、厚生労働省より、厚生労働大臣賞を以下 2 児童作品展実行委員会に下付

北海道恵庭児童作品展実行委員会

鳥取県西部児童作品展実行委員会

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

- ①表 彰：表彰式を平成 31 年 1 月 27 日（日）に、内閣官房副長官 西村康稔氏、環境大臣政務官 勝俣孝明氏、農林水産省生産局長 枝元真徹氏他の来賓を迎え、館内能楽堂に於いて開催した。
- ②展覧会：平成 31 年 1 月 12 日～2 月 13 日 於：当館円形ホール
- ③後 援：文部科学省、外務省、厚生労働省、農林水産省、環境省、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本 P T A 全国協議会、公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、全国新聞社事業協議会、公益財団法人海外日系人協会、全国連合小学校長会
- ④図 録：全国展の入賞作品、感想文、歴代受賞者の歩みをおさめた「第 30 回 M O A 美術館全国児童作品展」の図録を作成し、関係者に配布した。

(4) 周年記念事業一日タイ交流児童作品展について

タイ国では、文部省特別教育局との共催で 8 月 21 日～26 日バンコク芸術文化センターにて交流展を開催した。

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、美術館開館日に、MOA 美術館の茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行うとともに、当館及び外部における茶会などを行った。

(1) 茶会

① 第 33 回光琳乾山忌茶会

創立者の構想に基づき造営した京都広沢池畔・平安郷において、尾形光琳、尾形乾山の命日に因み、顕彰する茶会を開催した。

期 日：平成 30 年 6 月 2 日・6 月 3 日

会 場：京都・平安郷 嵯峨広沢池畔

席 担 当：濃茶席 田部美術館

薄茶席 東京美術青年会

薄茶席 MOA美術館

参会者数：497名（内訳 6月2日 297名 6月3日 200名）

② 南蛮茶会

特別展「信長とクアトロ・ラガッツィ 桃山の夢と幻+杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ」開催に合わせ、武者小路千家家元後嗣千宗屋氏による取り合わせにより、信長や少年使節が生きた時代が味わえる茶会を開催した。

期 日：平成30年11月3日

会 場：MOA美術館・一白庵

席 担 当：千宗屋氏

参会者数：160名

③ 初釜

箱根

期 日：平成31年1月16日

会 場：箱根神仙郷・山月庵

参会者数：67名

熱海

期 日：平成31年1月21日

会 場：MOA美術館・一白庵

参会者数：70名

(2) 体験プログラム（お茶、お花など）

① 旅行社とタイアップした茶室見学・体験

日経カルチャー、クラブツーリズム等をはじめとする各旅行社とタイアップし、MOA美術館の「光琳屋敷」や茶室「一白庵」のガイドツアーを実施し、日本の伝統的な建築・庭園空間を五感でお客様に味わっていただく取り組みを行った。なお、このガイドツアーの内容は、近隣観光施設の従業員研修や東海地区の教育者・美術愛好者グループの研修にも活用され、その受け入れを行った。

② 箱根美術館では、平成30年7月21日～8月20日の夏休み期間、小中学生対象に、展示作品を楽しみながら鑑賞していただくため「おもしろクイズ」を実施し、169名が参加した。また、8月4日には、茶室「真和亭」広間での一輪の花体験コーナーも実施し9名が参加した。

(3) 能楽教室 体験・講座と能楽鑑賞

平成30年8月24日 能楽器体験、能楽講座と能・狂言の鑑賞

演 者：宝生流シテ方 辰巳満次郎

小鼓方大倉流宗家 大倉源次郎

狂言和泉流シテ 野村萬齋

参加者数：楽器体験 63名 能楽講座と鑑賞 467名

(4) 日本文化体験の実施 於：光琳屋敷 (平成30年4月～31年3月の実績)

① きもの体験 22名

② 茶の湯体験 57名

③ いけばな体験 12名

合計91名が、主に事前予約にて日本文化の体験を楽しんだ。

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会や野外における薪能、コンサート等の公演を行った。

(1) 定期演能会 (3回開催)

① 期 日：平成30年6月17日 (入場者数443名)

演 目：能「項羽」宝生流 宝生和英 他
狂言「萩大名」和泉流 石田幸雄 他

② 期 日：平成30年10月27日 (入場者数409名)

演 目：能「天正少年使節」金春流 櫻間右陣 他
狂言「茶壺」大蔵流 善竹十郎 他

③ 期 日：平成31年3月17日 (入場者数438名)

演 目：能「小袖曾我」観世流 観世清和他
狂言「蝸牛」大蔵流 善竹十郎 他

(2) 舞踊・常磐津・囃子と月の道薪能 - 熱海の森羅万象に捧ぐ - (入場者数2,050名)

会 場：熱海サンビーチ特設会場

主 催：あたま月の道薪能実行委員会／公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

期 日：平成30年9月22日

後 援：熱海市、熱海市教育委員会、熱海市観光協会、熱海商工会議所、熱海温泉ホテル旅館協同連合会、(株)エフエム熱海湯河原、(株)伊豆急ケーブルネットワーク、熱海新聞、伊豆毎日新聞

演目出演：舞踊「江戸祭り」ほか／芸妓置屋連合組合

新作能舞「月光」／辰巳満次郎 他

舞踊・常磐津「千代の友鶴」／花柳あらた 他

能 宝生流「乱」／辰巳満次郎 他

(3) 美術教育シンポジウム 伝統工芸による美育 美術教育の新しい視点

(入場者数 450名)

期 日：平成30年11月24日

主 催：MOA美術館

後 援：公益社団法人日本工芸会、静岡県、静岡県教育委員会、熱海市
熱海市教育委員会

挨 拶：林田英樹 公益財団法人日本工芸会理事長

パネラー：松井三郎（掛川市長）

室瀬和美（重要無形文化財「蒔絵」保持者）

大角幸枝（重要無形文化財「鍛金」保持者）

道越洋美（静岡県教育委員会静岡西教育事務所教育主査）

日野 峻（元石巻市立和渚小学校教頭、ドリームメーカーあうん代表）

コーディネーター：内田篤呉（MOA美術館館長）

(4) コンサート

①GWコンサート

ハンマーダルシマーコンサート（入場者数 594名）

期 日：平成30年5月3日（木）

会 場：MOA美術館・能楽堂

②中村由利子ピアノコンサート（入場者数 672名）

期 日：平成30年5月4日（金）

会 場：MOA美術館・能楽堂

③竹弦囃子／篠笛・ギター コンサート（入場者数 584名）

期 日：平成30年5月5日（土）

会 場：MOA美術館・能楽堂

④ アルゲリッチ&マイスキー スペシャルコンサート（入場者数 477名）

期 日：平成30年6月8日（金）

会 場：MOA美術館・能楽堂

出 演：マルタ・アルゲリッチ（ピアノ）

ミッシェル・マイスキー（チェロ）

⑤ 坂東玉三郎シャンソン スペシャルコンサート（入場者数 481名）

期 日：平成30年8月1日（水）

会 場：MOA美術館・能楽堂

出 演：坂東玉三郎

玉城和樹（琉球古典音楽）、澤田成十郎（津軽三味線）

⑥ 中村由利子ピアノコンサート (入場者数 305名)

期 日： 平成30年8月10日(金)

会 場： MOA美術館・能楽堂

出 演： 中村由利子(ピアノ)、植草ひろみ(チェロ)

⑦ チェロコンサート (入場者数 480名)

期 日： 平成30年8月11日(土)

会 場： MOA美術館・能楽堂

出 演： 植草ひろみ(チェロ)、中村由利子(ピアノ)

⑧ アルパコンサート (入場者数 458名)

期 日： 平成30年8月12日(日)

会 場： MOA美術館・能楽堂

出 演： 今村夏美(アルパ)、大澤裕貴(ピアノ)

⑨ 森山良子スペシャルコンサート (入場者数 472名)

期 日： 平成30年11月11日(日)

会 場： MOA美術館・能楽堂

出 演： 森山良子

⑩ 室瀬和美のトークと吉野直子のハープコンサート (入場者数 641名)

人間国宝の漆芸家、室瀬和美氏の公演と、室瀬氏が制作したハープでの演奏会。

期 日： 平成31年2月9日

出 演： 吉野直子(ハーピスト)

1985年アリオン賞、1987年村松賞、1988年芸術祭賞、1989年モービル音楽賞奨励賞、1991年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性芸術賞をそれぞれ受賞している。国際基督教大学卒業。

(5) 獅子舞

横浜・関古式囃子保存会による獅子舞と囃子演奏を行った。

期 日： 平成31年1月2日・3日(両日各3回公演、来場者数合計2,049名)

会 場： MOA美術館 能楽堂

2. 主催講座

(1) 光輪花クラブ

創立者のいけばなとライフスタイルを学べる光輪花クラブとして、コース、カリキュラムを改定し、平成30年7月より新しく「美的生活コース」を開始した。

(美的生活コース 4,041名 旧コース 889名 合計会員数 4,930名)

(2) 光輪花講習会

花のある生活の拡大を願い、花サロンや山月サークル等、気軽に生活に生かせる花の講習を実施した。

3. 主催セミナー

(1) 源氏物語文学セミナー（開催数 11 回 参加者総数 1,430 名）

① 開催日：

平成 30 年

4 月 17 日、5 月 15 日、6 月 19 日、7 月 17 日、9 月 18 日、10 月 16 日、
11 月 20 日、12 月 18 日

平成 31 年

1 月 15 日、2 月 19 日、3 月 19 日

② 講師： 羽深恵美

③ 開催場所： 能楽堂

V. 育成事業

1. スクールプログラム

(1) 紅白梅図屏風（複製）をはじめ美術品を通じた美育の推進

① 平成 30 年 10 月 16 日 伊東市立南中学校において紅白梅図屏風レプリカを用いた鑑賞授業を実施した。

② 平成 30 年 10 月 30 日 三島市立中郷西中学校において紅白梅図屏風レプリカを用いた鑑賞授業を実施した。

③ 平成 30 年 11 月 26 日 静岡中央特別支援学校において紅白梅図屏風レプリカを用いた鑑賞授業を実施した。

④ 平成 31 年 1 月 30 日 掛川市立土方小学校、西山口小学校において「東海道五十三次」復刻版を用いた鑑賞授業を実施した。

⑤ 平成 31 年 2 月 1 日 掛川市立土方小学校、西山口小学校において「東海道五十三次」復刻版を用いた鑑賞授業を実施した。

⑥ 平成 31 年 2 月 20 日 掛川市立原野谷中学校、桜ガ丘中学校において「東海道五十三次」復刻版を用いた鑑賞授業を実施した。

⑦ 平成 31 年 3 月 7 日 岩倉市立南部中学校において、「東海道五十三次」を用いた鑑賞授業を実施した。

⑧ 平成 31 年 3 月 8 日 岩倉市立岩倉中学校において、「東海道五十三次」を用いた鑑賞授業を実施した。

(2) 教職員への研修授業

① 平成 30 年 8 月 23 日 世田谷区教職員研修会にて鑑賞授業の講師として当館学芸

員を派遣した。

実施場所：東京農業大学 世田谷キャンパス

受講者：世田谷区立小・中学校教員中の希望者

- ② 平成31年3月7日 岩倉市の教育研修会において「東海道五十三次」を用いた研究授業を実施した。

(3) 中学生や高校生の職場体験学習の受入れ

- ① 平成30年8月7日～8月8日 函嶺白百合学園高等学校2年生3名の職場体験（受付、茶室の実習）を箱根美術館にて受け入れた。

2. MOA美術館児童合唱団の充実と体制整備

合唱と美術鑑賞を合わせて楽しむことによって、音楽教育における感性育成を目的とした児童合唱団の活動を継続し、熱海市民文化祭をはじめとするコンサート出演等も行った。

（団員数 最多期7名、最終時4名、活動日数 28日、コンサート等出演数 3回）

なお、団員数の減少に伴い、児童合唱団としての体をなさなくなったため、平成30年12月を以て団活動を終了した。

3. 花による美育活動の推進－MOA美術文化インストラクターの育成と資格の付与

- (1) インストラクター数 4,903名
- (2) インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催した。
- (3) インストラクター更新研修（年1回）を各地で実施した。
- (4) 新規インストラクター審査を実施し、新たに12名に資格付与した。
- (5) 光輪花クラブ開講インストラクターへの経費補助を行った。
- (6) 青年インストラクターの発掘、育成を図るユース研修（2回、22名）を行った。

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

(1) 顧客満足循環型経営への改善（職員の資質向上への取り組み）

- ① キャッシュレス化への対応やインバウンド対策等のため、上半期中に中国系オンライン決済手段であるウィチャットペイを導入、取扱いの習熟実績を積み、下半期中順次、Origami、アリペイ等他の決済手段まで拡げて導入した。
- ② インバウンド対策強化の一環として、職員対象の英会話研修を実施した。

(2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

- ① 熱海市内及び近郊施設への「前売り券」取り組みを行った。
- ② 熱海寮保養所協会との特別提携を行った。

- ③ 有名企業主催イベントとの連携を進め、上顧客旅行等の受入を行った。
(JR東日本「四季島」他)
- ④ 近郊の宿泊施設との入館、及びイベント等とのセットプラン造成に取り組んだ。
- ⑤ 箱根強羅公園、ポーラ美術館等、近隣施設との「共通割引チケット」相互販売に取り組んだ(箱根美術館)。
- ⑥ 富士箱根ゲストハウスにおいて、月2回、外国人宿泊客に対する美術セミナーを開催、茶の湯による日本文化体験コーナーも実施し、美術館への来館を促した。
(箱根美術館)

(3) コスト削減と増収に向けた経営改善計画案などの策定
コスト削減と入館者増加に向けて経営改善に努めた。

(4) 寄付金制度(ファンドレイジング)の推進
税額控除対象法人の認定について、季刊誌、MOA美術館ホームページ等を中心に広報し、周知を図った。

2. 入館者増加をめざした取り組み

(1) 展覧会やイベントに焦点をあてた広報・営業活動の推進

- ① ポスター掲示・チラシ配布
 - (a) MOA美術館展覧会ポスターやチラシを年間9回作成し、熱海市内420か所及び全国312か所に掲出依頼。
 - (b) イベントチラシを7回作成し、熱海市内355か所に掲出依頼。
- ② マスコミへの情報提供
 - (a) 展覧会、イベント等の情報を積極的に配信、取材の受入れを行った。

(2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み

(MOA美術館)

- ① 熱海市役所・熱海市観光団体(観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所)との連携強化を図った。
- ② 熱海の秋のプロモーション事業として、舞踊・常磐津・囃子と月の道薪能を開催した。開催内容については、IV-1「主催公演」に詳述している。

(箱根美術館)

- ① 神奈川県西部地域ミュージアム連絡会の「ミュージアムリレー」を平成30年5月16日に開催、近隣施設関係者を含む参加者20名に対し、箱根美術館紹介セミナーを開催し、庭園を案内した。

- ② 小田原箱根商工会議所との連携で、茶室真和亭を利用した親子茶の湯体験を「小田原箱根大博覧会 なりわい体験」として、夏休み期間中2日間開催した。

(3) ホームページやSNS等による広報の充実

- ① ホームページの更新
(a) 展覧会をはじめイベント行事などの情報を、早めにアップするようになった。
- ② フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどSNSの充実
(a) 展覧会の見どころ、イベント情報などをリアルタイムでアップ。
(b) 「フォロワー」の獲得数をバロメーターに、内容充実に努めた。

3. 施設の貸与事業

茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行った。

(1) 茶室の貸出

- ① 第34回光琳茶会
(a) 開催日：平成31年2月22日・23日
(b) 席主
青々庵：濃茶席 市田朝芳庵（大阪）
樵亭：薄茶席 谷村一溪庵（金沢）
一白庵：濃茶席 MOA美術館
(c) 参加者数：398名（内訳：2月22日 242名 2月23日 156名）

(2) 能楽堂の貸出

- ① 熱海地区安全運転管理協会 講習会
期日：平成30年7月4日
- ② 静岡県教育研究会 美術教育研究部 夏季研究大会
期日：平成30年8月8日
- ③ 静岡県民の日 アートウォーク
期日：平成30年8月21日
- ④ 杉本博司と探す！幻の安土城図屏風
期日：平成30年10月6日
- ⑤ 熱海地区安全運転管理協会 事業主研修会
期日：平成30年10月26日
- ⑥ 熱海市成人式
期日：平成31年1月13日
主催：熱海市・熱海市教育委員会生涯学習課
- ⑦ 熱海ジュニアグランプリ表彰式
期日：平成31年1月20日

主催：熱海市青少年健全育成市民会議

⑧ 熱海市地震防災講演会

期日：平成31年2月12日

⑨ 熱海まちづくり2030ファイナル

期日：平成31年2月16日

主催：熱海リノベーションまちづくり構想検討委員会

(3) その他の施設提供等

① 熱海ブランド A プラスフェア

期日：平成30年6月15日・平成31年3月9日・3月10日

地元熱海市との連携促進の一環として、MOA美術館本館1Fロビーに認定品取扱い店舗が出店した。(主催：熱海商工会議所)

4. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

(1) 美術館の安全確保に向けた対策

① MOA美術館改修後の新施設運用の習熟

新しい展示室やスタジオ等の新施設、Wi-Fi無線機等の通信機器、新レジスター
その他改修を機に変更した様々な新施設・新設備を使いこなせるよう、昨年度に
引き続き館内スタッフはもとより、事務所スタッフも一人一人が意識を持って習
熟に取り組み、来館者の安全確保とサービスの向上に努めた。

② 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修

(MOA美術館)

(a) 一昨年行った美術館改修工事の是正工事を各所で行った。(保証期間内工事)

(b) 能楽堂の同時通訳設備・音響・照明設備老朽化のため、配線、スピーカーや
照明機器等の機器更新工事を行うとともに、大型モニタ、動画編集機材等も
揃え、能楽堂本来の機能を発揮でき、更に公開用動画撮影等の用途まで耐え
うるよう、環境整備を図った。

(箱根美術館)

(a) 別館床カーペットの張り替え工事を行った。

(b) 本館空調機器の修理を行った。

(c) 庭園の流れの水量調整及び循環ポンプの新設工事を行った。

③ 美術館の防災、防犯の設備強化

(MOA美術館)

(a) 平成30年10月18日に実施された地域の総合防災訓練に職員が参加した。

また、大規模災害により来館者が美術館内で足止めをされた場合を想定し、
毛布・簡易トイレ・保存食料の備蓄を開始し、運用訓練を実施した。

- (b) 休館日の防犯体制強化の為、昨年度に引き続き休館日における入館受付・警備を警備会社に依頼・実施した。

(箱根美術館)

- (a) 防災備品の確認や防災マニュアルの見直しを行うとともに、町内の自主防災会との合同防災訓練に参加した。

④ 危機管理体制の整備・強化

(MOA美術館)

- (a) 法令および内規に基づき、特定個人情報（マイナンバー）の収集・利用・保管・廃棄における適正管理運用を行った。
- (b) 館内等での不測の事故に備えた賠償責任保険その他の保険加入を本年度の来客数規模に合わせて見直し、更新・継続した。

5. 飲食及び物品販売

(1) MOA美術館飲食コーナーの運営

観覧者に美術鑑賞をゆったりと楽しんでいただくための周辺環境の整備として、以下、直営2店舗の運営を行った。

① 和食・甘味 花の茶屋

和食・和のスイーツを提供

② the café

サンドウィッチ、菓子パン、シフォンケーキ等の軽食およびコーヒー等ドリンク類を提供、特に今期新たに導入したソフトクリーム（静岡県内産の原材料を主に使用）は大好評を受けている。

(2) ミュージアムショップの運営

① 箱根美術館売店

箱根美術館の開館日に営業を行った。

以上

□ 処務報告事項

1. 理事会並びに評議員会開催の件

- 理事会を平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日迄に 2 回開催した。
- 評議員会を平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日迄に 1 回開催した。

(1) 理事会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 30. 6. 12	議案	資産取得資金（特定資産）積立承認の件	可決
H. 30. 6. 12	議案	平成 29 年度 事業報告及び決算報告承認の件	可決
H. 30. 6. 12	議案	謝金規程承認の件	可決
H. 30. 6. 12	議案	定時評議員会開催の件	可決
H. 31. 3. 25	議案	2019 年度事業計画書及び収支予算書承認の件	可決
H. 31. 3. 25	議案	岡田茂吉美術文化財団基金規程の制定の件	可決
H. 31. 3. 25	議案	理事会、評議員会の日程の件	可決

(2) 評議員会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 30. 6. 28	議案	議長及び議事録署名人選出の件	可決
H. 30. 6. 28	議案	平成 29 年度 事業報告及び決算報告承認の件	可決

2. 職員異動の件

- (1) 採用職員 2 名
- (2) 退職職員 4 名
- (3) 職員数

	職員	㏍・男	㏍・女
計	42	25	17

以上